

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公表番号】特表2010-503781(P2010-503781A)

【公表日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-528445(P2009-528445)

【国際特許分類】

D 0 4 H	1/54	(2006.01)
D 0 6 M	17/00	(2006.01)
A 6 1 F	13/49	(2006.01)
A 6 1 F	13/56	(2006.01)
D 0 4 H	3/16	(2006.01)
D 0 6 M	17/04	(2006.01)
D 0 4 H	1/58	(2006.01)
B 3 2 B	5/24	(2006.01)

【F I】

D 0 4 H	1/54	Q
D 0 6 M	17/00	M
A 4 1 B	13/02	H
D 0 4 H	3/16	
D 0 6 M	17/04	
D 0 4 H	1/58	B
B 3 2 B	5/24	

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

弹性コア層と、前記コア層よりも弾性が低い少なくとも1つの表面薄層と、を有する活性化可能な弹性積層体ウェブ、及び前記弹性積層体ウェブの前記表面薄層の一方に取り付けられた少なくとも1つの予め接合された短纖維不織ウェブを含み、前記少なくとも1つの短纖維不織ウェブが、横方向において少なくとも100%の破断点伸びを有し、そして前記活性化可能な弹性積層体ウェブが、第1回目の荷重において、前記1つ以上の表面薄層の弹性限界を超えて横方向に伸びられた場合、本質的に均質な微小構造の表面を形成する、活性化可能なゼロ歪の複合積層ウェブ。

【請求項2】

前記少なくとも1つの短纖維不織布層が、熱接合、超音波接合、又は接着接合によって前記弹性積層体に取り付けられており、前記接着接合が、不連続な接着剤層によって達成され、前記接着層が、機械方向に延在する本質的に直線かつ平行な接合ストリップを含む、請求項1に記載の活性化可能な複合積層ウェブ。

【請求項3】

弹性コア層と、前記コア層よりも弾性が低い少なくとも1つの表面薄層と、を有する活性化可能な弹性積層体ウェブ、及び前記弹性積層体ウェブの前記表面薄層の一方に取り

付けられた少なくとも 1 つの予め接合された短纖維不織ウェブを含み、前記少なくとも 1 つの短纖維不織ウェブが、横方向に少なくとも 100 % の破断点伸び、及び前記不織ウェブの表面に対して 8 ~ 22 % の接合領域を有し、前記弹性積層体ウェブが、少なくとも 6 : 1 の前記弹性積層体ウェブのコア層の厚さ : そうしたウェブの前記少なくとも 1 つの表面薄層の厚さの比、又は少なくとも 6 : 1 の前記弹性積層体ウェブのコア層の厚さ : そうしたウェブの前記表面薄層の合計の厚さの比を有し、少なくとも 1 つの短纖維不織布層が、前記弹性積層体に不連続な接着剤層によって取り付けられている、活性化可能なゼロ歪複合積層ウェブ。

#### 【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の活性化可能な複合積層ウェブを、前記 1 つ以上の表面薄層の弹性限界を超えるが、前記短纖維不織ウェブの破断点伸び未満で伸ばすことによって得られる、活性化された複合積層ウェブ。

#### 【請求項 5】

( i ) 弹性コア層と、前記コア層よりも弹性が低い少なくとも 1 つの表面薄層とを有し、前記第 1 回目の荷重において前記 1 つ以上の表面薄層の弹性限界を超えて横方向に伸ばされた場合、本質的に均質な微小構造の表面を形成する、活性化可能な弹性積層体ウェブを提供する工程と、

( i i ) 少なくとも 100 % 横方向の破断点伸びを有する、少なくとも 1 つの短纖維不織ウェブを提供する工程と、

( i i i ) 前記短纖維不織ウェブを、前記弹性積層体ウェブに取り付け、それによって前記活性化可能な弹性積層体ウェブが、本質的に非伸張状態に維持される工程と、を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の活性化可能な複合積層体を製造する方法。

#### 【請求項 6】

( i ) 請求項 1 ~ 3 に記載の活性化可能な複合積層ウェブを提供する工程と、

( i i ) 前記活性化可能な複合積層ウェブを、横方向に、前記 1 つ以上の表面薄層の弹性限界を超えるが、前記短纖維不織布層ウェブの破断点伸び未満で伸ばす工程と、を含む、請求項 4 に記載の活性化された複合積層ウェブを製造する方法。